



おにぎり通信

2021年12月25日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷・市ヶ谷周辺や銀座・日比谷公園、東京駅周辺などで生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

クリスマスはロマンチック？

世間では、クリスマスイブを聖夜とよび、街にはきれいなツリーが飾られ、ジングルベルが流れ、人々は飲んで騒ぎます。しかし、クリスマスは元来、イエス・キリストの誕生を祝う日です。

聖書のルカ伝には、「彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである」と記録されています。イエス・キリストの母マリヤは、泊まる部屋がなく、羊やロバのいる家畜小屋でお産をし、飼葉おけに生まれたばかりのイエス・キリストを寝かせました。最初のクリスマスは、そんな状態でした。(→裏面につづく)

福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配るときに、お声がけください。

病院や生活相談などで福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しにうかがった際に、お声がけください。毎週土曜日の訪問活動のときにお声がけいただいた場合、翌週以降に、福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

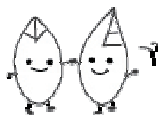
いぜんつと わたし しょくば ちか きゅうしゃ はな
以前勤めていた私の職場の近くに厩舎がありました。そこからは、離れていても、
あくしゅう う かちくごや おな
悪臭がただよみます。イエス・キリストの生まれた家畜小屋でも同じだったでしょ
う。かちくごや とうほう はかせ おうごん くわ にゅうこう もつやく こうりょう お
家畜小屋をおとずれた東方の博士は、黄金に加えて乳香、没薬（香料）を置
ていきました。あくしゅう け にゅうこう もつやく た
それは、悪臭を消すために乳香、没薬を焚かざるをえなかったから
なのでしょう。

う よ くる けが
ロマンチックなクリスマスではなく、生まれたときから、この世の苦しみや汚れ、
と じょうきょう かれ ひとびと
泊まるところもない状況だったイエス・キリスト。「彼はさげすまれ、人々からの
もの かな ひと やまい し ひと かお わたし
け者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私
たちも彼を尊ばなかった。かれ とおと かれ わたし やまい お わたし いた
まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをにな
った。だが、わたし おも かれ ばつ かみ う くる
わたしたちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと」
しよ か
～イザヤ書には書かれています。

う くさ かちくごや じんせい まくら い
その生まれは臭い家畜小屋。その人生では「枕するところがない」と言ってい
ました。イエス・キリストは、ホームレスのようだったんですね。そんなイエスは、
しょうがい いや きせき お かれ じんしゅうしたが
生涯たくさんの癒しや奇跡を起こし、彼に民衆が従っていきました。そのために、
きょう しどうしゃ きら うった さいご さい じゅうじかけい ころ
ユダヤ教の指導者たちに嫌われ、訴えられ、最期は、33歳で十字架刑になり殺され
ました。じゅうじかけい し のち みつかご い かえ じん こ ひと
しかし、十字架刑の死の後、三日後に生き返り、500人を超える人たちに
あらわ てん のぼ きじ きょう せかい ひろ
現れ、天に昇ったという記事があります。そのために、キリスト教が世界に広まっ
たのでしょ。かちくごや しゅっさんご かぞく ねら あかご
家畜小屋での出産後、家族はいのちを狙われたために、赤子のイエ
ス・キリストをつ たびだ
を連れてユダヤからエジプトへ旅立ったのでした。

ことし せわ しんねん がんたん がつ にち ほうもん
今年もお世話になりました。新年は元旦（1月1日）から訪問します。

よ や なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672
れんらくかのうじかん まいしゅうどようび ごご じ ごご じ
連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時
ちよ だくこうじまち せい きょうかい
千代田区翹町6-5-1 聖イグナチオ教会



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
ばこ い かたづ きょうりよく ねが
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。ひとり おお かた め
し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。